

日本医師事務作業補助研究会 「第1回宮崎地方会」

平成23年9月24日、宮崎県宮崎市において、第1回宮崎地方会を開催いたしました。

県内各地及び隣県の鹿児島県から、30医療機関、65名以上の「医師事務作業補助者」が集まりました。参加者には、既に医師事務作業補助者として勤務している実務者は勿論、実務者を取りまとめている役職者や、これから導入を考えている医療機関職員も多く、この地方会への期待感がひしひしと伝わってきました。

まずは、医師事務作業補助者の実態や業務分担の在り方などについて研究を行っている東京医療保健大学の講師であり、日本医師事務作業補助研究会アドバイザーでもある瀬戸僚馬先生の話から始まりました。医師事務作業補助者をめぐる法律や通達など知っておくべき背景、そしてアンケートを通して得られた作業補助者の業務や勤務の実態、これからの展望など、詳しく基本的なところからお話ししていただきました。



続いて行われたのは、2つの医療機関での実践報告。報告から、病院の特性や立場の違いにより担っている業務範囲や役割も異なり、行政から細やかな方針が出ていない現状で、各医療機関・実務者たちが日々模索していることが明らかになりました。



最後はグループワーク。実務者が情報共有し、お互いの課題やその解決策を話し合う貴重な時間になりました。8名ずつ8グループに分かれ、自己紹介からスタート。このグループ分けには、地域性・クリニック・病院・公的機関・役職者等、共通項目が含まれていました。いろいろな現状や課題が語られ、お互いに解決に向けての案も出ました。

夜は、懇親会で締めくくりました。尽きることない話に花が開き、夜遅くまで語り飲みました。

地方会開催にあたり、アンケートを実施しましたが、地方会が貴重な交流の場であったことや今後も継続して開催していただきたいといった意見が多く聞かれ、参加者の想いをうまく繋げていけるよう考えていかなければならないと強く感じました。

日本医師事務作業補助研究会
幹事 武田 まゆみ
(潤和会記念病院)

